

## 単元名 ゲーム(ボールゲーム)ボール投げゲーム

配当時間 9時間

- 単元の目標 (1) 簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをすることができる。  
 (2) 簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。  
 (3) 運動遊びに進んで取り組み、規則を守り、誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり場や用具の安全に気を付けたりしようとする。

## 標準的な展開例

01100206\_001

【準備等】ドッジボール、対戦表 など

| 学 習 活 動   | 留 意 事 項 など   |
|---|--|
| <p>1 ドッジボールのねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のねらいや進め方を知る。</li> <li>★友達と仲よくドッジボールを楽しもう。</li> <li>○マナーや安全な運動の仕方について知る。</li> <li>○チームを作る。</li> <li>○ボールを使って遊ぶ。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・円になってパス、円の中に逃げる人を入れてパスなど</li> </ul> </li> <li>○転がしドッジボールのゲームの進め方を知る。</li> </ul> <p>○試しのゲームをする。</p> <p>2 的当てゲームを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ボールを使って遊ぶ。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・転がす、捕る、避けるなど</li> </ul> </li> <li>○ゲームの進め方の確認をする。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール、マナー、対戦相手</li> </ul> </li> <li>○第1ゲームをする。</li> <li>○反省し、練習をする。</li> <li>○第2ゲームをする。</li> <li>○反省し、まとめをする。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題、作戦、ルール、マナーなど</li> </ul> </li> </ul> <p>3～4 的当てゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ボールを使って遊ぶ。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・投げる、捕る、避けるなど</li> </ul> </li> <li>○的当てゲームの進め方について知る。</li> <li>○ゲームをする。</li> </ul> <p>5 転がしドッジボールを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ボールを使って遊ぶ。</li> <li>○ゲームの進め方の確認をする。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール、マナー、対戦相手</li> </ul> </li> <li>○第1ゲームをする。</li> <li>○反省し、練習をする。</li> <li>○第2ゲームをする。</li> </ul> <p>○反省し、まとめをする。       <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題、作戦、ルール、マナーなど</li> </ul> </p> <p>6～9 転がしドッジボールをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○転がしドッジボール大会を行う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>総当たり戦、トーナメント戦など</li> </ul> </li> </ul> <p>○単元のまとめをする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の前半は、転がしドッジボール、後半は中当てドッジボールをすることを知らせる。</li> <li>・男女混合4～6人で編成する。</li> <li>・チームごとに行わせる。</li> <li>・＜ルールの例＞<br/>外野2人、内野2～4人、転がして当てる<br/>内野はボールを捕らないで逃げる<br/>当てた数を得点とするなど</li> <li>・チーム内で行わせる。</li> <li>・チームごとに行わせる。</li> <li>・ルールは、複雑にならないよう配慮する。</li> <li>・ゲームの結果から、各チームに助言する。</li> <li>・第1ゲームとは別のチームと対戦させる。</li> <li>・チームごとに行わせる。</li> <li>・ゲームの結果から、各チームに助言する。</li> <li>・第1ゲームとは別のチームと対戦させる。</li> <li>【評】楽しく転がしドッジボールをする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・グループでの話し合いや自己評価などをさせる。</li> <li>・試合方法は、学級の実態に応じて決める。他の学級と対戦して行うことも考えられる。</li> <li>【評】ゲーム中の動きを通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】転がしドッジボールを通して、「知識・技能」を評価する。</li> </ul> |

## 【備 考】

ドッジボールは、内野と外野に分かれ、ボールを転がしたり、投げて当てたり、捕らえたり、避けたりするゲームである。1年生の児童は、投力がまだしっかり身に付いていないため、ボールをぎゅっとにぎる（つかむ）感覚を身に付けさせたい。

＜運動が苦手な児童への配慮の例＞

- ・柔らかいボールを用いたり、空気を少し抜いたボールを用いたりする。
- ・柔らかいボールを用い、1対1でゴールを守る練習をしたりする。